

9月1日(火曜日)「新しい祝福のため」

【新改訳 2017】

ルカ 5.33-39

「イエスはまた1つのたとえを彼らに話された。『……また、だれも新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるようなことはしません。……新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れなければなりません。』」(36-38節)

最後の句は、格言としても知られています。

当時、イエスが語られた神の国の福音は、律法主義になっていたユダヤ人たちにはまったく新しいものでした。彼らにとって、ぶどう酒は生活必需品であり、また「喜び」の象徴的意味に用いられていたもので、主はこの日常的な例を用いて、「福音」(新しいぶどう酒=喜び)は、律法主義(古い皮袋=考え、生き方)では味わうことのできないこと、そして、新しい考えと生き方で体験すべきことを教えられたのです。

イエス・キリストの福音はまったく新しい祝福の知らせです。私たちは、日本人とか、自分の主義とかの古い皮袋

に入れようとしていないでしょうか。それは無理です。ぜひ、思いきって新しい皮袋に入れましょう。

～祈り～

主よ。新しいぶどう酒を感謝します。どうか、新しい皮袋に入れて、その祝福にあずかせてください。

【学びのために】

「古い皮袋」とは、例えば、これまで身につけてきた考え方、生き方、また文化や伝統、習慣なども絡み合った先入観念等にも考えられます。これらのものがみな悪いという意味ではありませんが、すばらしい福音「ぶどう酒」に入れるには無理があるか、妨げになるという意味です。